

平成 28 年 7 月期月次景況調査結果

この調査結果は、中小企業庁の指定事業に基づいて設置された山口県内の情報連絡員 60 人に、本会が新たに選んだ 20 人を加えた 80 人の連絡員より業界動向を把握した結果です。

7 月の業種別景況の前月比 DI 値は、好転が 5 業種、昨年同等が 8 業種、悪化が 1 業種の結果で、猛暑と夏季需要が関連する業種で売上や収益状況が少し好転している状況である。

受注がままならない状態が続いている業種も多くあるが、輸送機器のように受注が好調な業種もある。また、人員・人材不足についてあらゆる業種から報告されている。

中小企業の景況感は、今現在は前年度とほぼ同等とみているが、景気の先行きについて懸念している。

山口県の主要指標 DI 値（平成 28 年 7 月末現在）

※DI 値とは、前年同期に比べ「増加」・「好転」したとする企業割合から「減少」・「悪化」したとする企業割合を差し引いた値です。

業界の景況 $(\text{好転} - \text{悪化}) = \text{DI 値}$

前年同月比は、好転： 2.5% 悪化： 33.8% DI 値： ▲31.3% ポイント

売上高 $(\text{増加} - \text{減少}) = \text{DI 値}$

前年同月比は、増加： 18.8% 減少： 38.8% DI 値： ▲20.0% ポイント









収益状況 $(\text{好転} - \text{悪化}) = \text{DI 値}$


前年同月比は、好転： 11.3% 悪化： 31.3% DI 値： ▲20.0% ポイント

山口県の業種別 DI 値(業界の景況)（平成 28 年 7 月末現在）

				
30 以上	30 未満～ 10 以上	10 未満～ ▲10 以上	▲10 未満～ ▲30 以上	▲30 未満

食料品	織 維 工 業	木材・ 木製品	印 刷	窯業・ 土石製品	一 般 機 器	輸 送 機 器	全 製 造 業
▲42.9	0.0	▲33.3	▲100.0	▲66.7	▲11.1	50.0	▲30.3
							

卸売業	小売業	商店街	サービ ス 業	建設業	運輸業	その他	全 非 製 造 業
▲40.0	▲44.4	▲75.0	▲18.2	▲30.0	0.0	▲100.0	▲31.9
							

全 体
▲31.3


食料品	長雨と猛暑の影響で店頭の客足が鈍かった。各店、来店頻度と客単価を上げるために、あんみつや桃まるごとケーキなど趣向を凝らしている。防府市や萩市では大河ドラマの効果は無くなった。	パン・菓子製造業
	7月の売上は8/1の速報値で対前年同月比▲10%であるが、対前年同月比のマイナス幅が徐々に緩やかになってきている。空調設備・冷蔵設備の増強・入替えなど、借入をせず自己資金で整備実施するため手元資金が減少しているが安全圏内である。今後の売上増加策として、これまで消極的であった通販（WEB・産直通販・ギフトなど）への取り組みを検証することとした。	水産食料品製造業 萩市
	商品の動きが鈍い。全体的に景気の悪い雰囲気が広がっているように思う。	水産食料品製造業 下関市
	7月中旬の梅雨明け宣言以降全く雨が降らなくなり、今度は野菜や大豆の生育へ影響が懸念されている。近年、地球温暖化に伴う異常気象が企業経営に影響を及ぼす状況となっている。突然の自然災害へ対応できるようなインフラの整備が必要となってきている。	精穀・製粉業
繊維工業	主力販売取引先の7月からのキャンペーン分の追加発注により受注が増加し1月末まで受注量がある。外国人実習生は現在、中国人26名、ベトナム人28名の計54名。8月2日にベトナム人が4名来日。次回の受入は11月にベトナム人6名を予定している。今年から中途採用が困難な状況で、高卒採用についても今年だけでなく来年も同様な状況である。労働集約型の企業には難しいのか、学校並びにハローワーク等で求人活動をしているが、レスポンスも皆無であるため、人材派遣センターからの派遣を検討しているが、人件費がかなりUPするのではと懸念している。	下着類製造業
	秋物商品を製造している企業は仕事もあり売上も上がっているが、販売企業の店頭で商品の動きが悪く売上も低迷し量産製品が特に売れていない状況。熊本地震等の影響か消費者マインドが冷えていると思う。	外衣・シャツ製造業 山口市
	端境期でもあり盆明けの仕事が少ない。	外衣・シャツ製造業 下関市
	店頭商品の動きが悪いため様子見の発注ロットになっており生産効率が非常に悪い。しばらくこの状態が続きそうである。	外衣・シャツ製造業 萩市
木材・木製品	現在1社が主に木材乾燥設備を利用しているが、他の組合員の利用も増やしたい。	製材業・木製品製造業 山口市

	今年度発注予定の公共工事に使用する製材を行っており徐々に操業度も上がってくる見込みであるが、離職者が多い組合員もあり人員確保に苦労している。	製材業・木製品製造業 下関市
印刷	昨年に引き続き青年部主催のセミナーを秋に実施する予定。	印刷 下関市
	昨年7月に受注した大きい物件が今年は他社に取られ、それに代わる物件も見当たらず、売り上げが減少した。	印刷 山口市
窯業・土石製品	公共工事がほとんどなくなり民間の工事が少し入る程度で、状況は変わらない。厳しい状況がまだまだ続く模様である。 (平成27年7月) 骨材 66%、路盤材117%、再生材153% ↓ (平成28年7月) 骨材 93%、路盤材124%、再生材 75%	砕石製造業
	出荷量は、前月比109%、前年同月比82%。例年、年度当初の出荷量は年度末に比較して減少する。現時点では、セメント・骨材等の資材調達で特に問題はなく、生コン価格も安定している。	生コンクリート製造業
	梅雨のわりに雨降りと晴れが比較的はっきりしていたので仕事はやり易かったが、梅雨明けと同時に暑くなり暑さ対策が必要となってきた。従業員の事を考えると、仕事の効率は上がらないが、外仕事では休憩を頻繁に取り熱中症対策を第一に考えざるをえない。	石工品製造業
	萩市は7月に観光客の増加が見込まれたが、先月同様、観光客数・売上ともに前年と比べかなり落ち込んでいる。夏休みに入っても状況は変わっていない。当組合が商品を提供している浅草のアンテナショップ「まるごと日本」の売上も2ヶ月連続ダウンとなった。(平成27年12月オープンで昨年と比較は出来ない。) 萩市内の観光スポットで、観光客なのか近隣者なのかかわからないが、スマホで「ポケモンGO」をしながら歩く姿が多く、この社会現象を何か売上げに生かせる方法はないものかと考えている。	陶磁器・同関連製品製造業
一般機器	夏期渇水のため工業用水の取水制限が始まり、有機EL関連の企業では生産調整をしており一時的な売上減少の企業もある。	一般機械器具製造業 周南市
	7月の景況は、前月に引き続き芳しくない。海外工事関係では依然として受注が無く、自動車の金型は8月まで好調である等組合員間で温度差がある。	一般機械器具製造業 防府市

	<p>機械検査、機械加工関係の下請け企業の受注状況は安定している。惣菜、自動車、造船関係は好調で残業も多く、組合としては36協定の遵守を指導している。食品加工、食肉加工業、溶接関係、惣菜等は、引き続き人材の確保が困難であり外国人技能実習生の増員や新規受入の相談が続いている。特に惣菜関係の人手不足は深刻となっている。介護関係の国の制度改正が継続審議になったことに伴い、介護施設からの問い合わせが増えている。</p>	一般機械器具製造業 宇部市
	<p>前年同月どおりで推移している。</p>	一般機械器具製造業 宇部市
	<p>金型の生産設備操業度は6月に比べ上昇してきた。5～6月に受注が伸びたため、マシニング・ワイヤー・研削加工がややオーバーフロー気味となった。人員減少によりローテーションせざるをえなく、旋盤・研削加工の教育を行っている状況。現在の受注分及び受注見込み分を加味すると10月末までの仕事量は確保出来ている。かなりの仕事量があり外注も含め進めているが、最終工程のミガキ等は手仕上げとなり人員を投入し何とか納期に対応している。見積り案件は特殊な金型が多く活発に推移しているが、受注にはなかなか厳しい状況である。成形製品の生産設備稼働率は前年より上昇傾向にはあるが、民生部品（家電・電子部品）など製品毎の受注量の変動に影響を受け、先が読みにくい状況が続いている。</p>	特殊産業用機械製造業
輸送機器	<p>上期前半は鉄道、精密加工、産業プラント部門ともに前年に比べ作業高が増加している。上期後半も落ち込むことは無く推移すると見込んでいるが、精密加工部門については秋以降の見通しが不明であるのが気付きである。</p>	鉄道車両・同部品製造業
	<p>人員・人材不足が続いている。</p>	船舶製造・修理業
卸売業	<p>お盆に向けて商品の保管をしているこの時期は在庫が少なく、少しずつ保管数が増加しており、前年同月比で6.7%の保管料の増加となっている。イリコは絶対数が少なく入札出来ない状況との事。</p>	乾物卸売業
	<p>前月と変わりなく、品物が無いので荷動きも少ない状態。“ふく”も鮮魚も同様。今年はサンマも不漁で、昨年に続いてウナギも高値である。</p>	生鮮・魚介卸売業
	<p>依然として厳しい状況が続いている組合員企業がほとんどだが、僅かに少しずつ好転しているという企業もある。</p>	各種商品卸売業 防府市

	昨年よりも梅雨明けが早まり、飲料関連商品の売上が増加している。	各種商品卸売業 山口市
小売業	大手化粧品メーカーによると山口県の売上は前年同月比97%弱とのこと。本来なら夏物商品などが売れる月であるが、どの店も状況が厳しい模様である。	化粧品小売業
	由宇通津地区の小売商店はギリ貧の状態、よくなる兆しは見えず現状維持が精一杯の状態。ポイント発行機械も故障が多く事業主の高齢化とともに今後の課題である。地区の中小企業者の動向は、梅雨が明け本格的な夏の到来となり、夏物衣料・家電・飲み物などの売上が順調である。潮風海水浴場の来場者も多く、レストラン・物販の売上が好調である。小規模事業者への求職希望者が少なく労務管理に苦勞している。若年層の転職が多く従業員の出入りが多い。特に介護関係が顕著である。	各種商品小売業 岩国市
	7月30日に夏祭りを開催したが、商店街青年部も商工会議所青友会と共催し「お化け屋敷」を復活させた。	各種商品小売業 周南市
	休日が前年より2日多く後半に好天が続いたこともあり売上が順調に推移し、前年同月比で8%売上の増加となった。	各種商品小売業 山口市
	先月同様、全店ベースでの売上は前年を上回っているが、組合員店ベースでは客数、売上とも前年を下回る状況である。	各種商品小売業 長門市
商店街	お中元商戦、衣料品関係の夏セールを早々と実施したが、消費が低迷しており、売上が減少した状態が続いている。	山口市
	7月23日、30日、8月6日と「新天町土曜夜市」を開催する。7月23日には宇部花火大会の13万人の客が商店街の周りに集まり、終日賑わう。	宇部市
	今年の夏は例年より暑いのか飲み物を取り扱っている店の売上が多少上がっているが、他の業種は伸び悩んでいる。この夏の暑さでアーケードの人通りも減少している。商店街には無いが、他地区のスーパーや量販店には涼を求めての人出が多い。	萩市
サービス業	天候の回復に伴い客足の改善が見られる。店頭商品の売上の向上に努力する店も増えたようだ。	美容業
	暑さも伴い消費者の来店サイクルが早くなり少し好転となったと思う。	理容業
	県内の軽自動車の新車販売が燃費不正問題もあり、販売台数を大きく落とし厳しい状況である。この販売減少が3年後、5年後には車検台数の減少となって影響してくることから、整備事業者にとっては大きな問題の種である。	自動車整備業

	猛暑で子供の参加者が少し多い模様だが高齢者の休会が多い。	スポーツ・健康教授業
	宿泊人員は対前年同月比で109%と大幅な伸びを示したが、7/27からインターハイが開催されたことが一因と考察される。販売額（宿泊売上）においては105%で5%程度の伸びに留まったが、インターハイの料金設定が一般料金に比べ低額に抑えられているためと思われる。	旅館業 山口市
	九州の「宿泊助成金」が始まった影響で、隣接している下関の稼働率が下降気味である。熊本地震の影響で外国人の宿泊が未だに回復していない。	旅館業 下関市
	飲食部門のテナントが営業を開始したが、今月は直接的に影響は無い。中国地方は高校総体により宿泊客が増え、温泉施設利用者も増加の影響を受けた。	旅館業 長門市
	なんやかんや言われながらも参議院選挙は自民の圧勝となり、景気も変り映えしない状況である。長雨で野菜が高騰、食材費の値上げで収益が悪化した支部もあったがおしなべて不変である。	飲食業
	梅雨明け前は雨の日も多く客足が鈍りかなりの需要減だったが、梅雨明け後、毛布やコタツ布団などの大物が一気に出了。しかしながら全体的には年々減少傾向にある。この時期は家庭洗濯に衣類をとられ、夏の閑散期に突入の様様。	普通洗濯業
建設業	6月の山口支部中電への工事申請は156件（前年は130件）。太陽光発電への申請21件、オール電化申請70件（前年は太陽光21件、オール電化69件）、LED街路灯への切替・新設申請35件（前年は40件）であった。	電気工事業
	岩国地区を除き民間工事・公共工事共減少しているため、1つの物件に応援の総合工事業者の数が増えている。隣県にも営業基盤を持つ事業所は工事の減少幅が少ない。	左官業
	一度に大量発注があったようで、組合員は忙しくしている。又、炎天下での作業であるので従業員の健康管理には、大変気を使っている。過去、受注額の20%であった概算払額が40%に引き上げられたので、資金繰りが好転している。	管工事業 岩国市
	瓦工事業は屋外作業のため天候に大きく左右される。梅雨明け後は猛暑続きで著しく作業効率化が低下している。	屋根工事業
	大型物件の工事完了に伴い仕事の件数は減少したが小規模物件の数が多く、相変わらず人手不足のまま推移した。職方も不足で忙しい割には売上が上がらず減少している。原因は小規模の物件の数が多い割に、担当者も1日単位毎の段取りとなったからであ	内装工事業

	<p>ろう。8月盆明け頃から少しずつ売上也回復しそうだが、年度末にかけての忙しさはあまり期待できないとみている。</p>	
	<p>大手建設業の決算状況は好転している模様だが、柳井地区建設業者の決算は変り映えしない状況で、都市部と地方の地域格差があまりにも大きすぎると思う。</p>	<p>土木工事業 柳井市</p>
	<p>7月は2件の受注があったが、2件とも現場が遠いのでガソリン代等がかかり採算が合わないが贅沢は言えない。</p>	<p>土木工事業 周南市</p>
	<p>7月の受注高は対前年同月比50%。今年度の累計は対前年比で95%。</p>	<p>土木工事業 萩市</p>
運輸業	<p>トレーラー車の輸送で長・短距離の輸送が目立ったが、月後半はやや輸送量が減った。輸出は横ばい。国内向けの輸送はやや上向きで単発的に車両不足があったが、売上は前年同月比で約1.5%のアップにとどまった。ドライバー不足は依然として解消されないままである。燃料費は4.7円の値上げで価格変動が激しく、中小運送業の経営は一喜一憂である。軽油引取税の軽減を望む声が多い。</p>	<p>一般貨物自動車運送業 下松市</p>
	<p>7月の輸送受注実績は6月同様の前年同月比13%程度の減少でなかなか歯止めが効かない。円は高止まりから幾分安値に動きつつあるようだが先は見通せない状況で、自動車関連に携わっている者としては気がかりなところである。燃料費は7月に入って若干値下げの方向である。</p>	<p>一般貨物自動車運送業 防府市</p>
	<p>運送部門・倉庫部門共に荷物が増えてきている。飲料水等の季節物の案件が増加しているほか、大口ではないものの小口・中口の輸送・保管案件が増えている様子。人手不足は若干解消されたもののまだ不足である。物流業のようなきついイメージの仕事は敬遠されがちのようである。</p>	<p>一般貨物自動車運送業 宇部市</p>
	<p>夏期休暇に入って人が移動している模様であるが、売上増には繋がっていない。</p>	<p>一般旅客自動車運送業 下関市</p>
	<p>タクシーチケットの取扱い金額は、前年同月比▲0.4%（平成28年7月1日～20日分。）当組合の取扱いは、光市、下松市、周南市、防府市の地域。6月分が+0.1%となったのは、特定の業種や地域だけでなく全体として前年同月並みの需要であった上に、郡部の診療所用の取扱が多く発生したため、好転というものでは無い。主要燃料であるLPGについては、CP（通告価格）と為替に連動して変動するが、ブタン、プロパンのCPが下がり（前月373\$/トンが今月338\$/トン）、為替も円高になったので前月より▲5%となり、前年7月分に比べると17%</p>	<p>一般旅客自動車運送業 周南市</p>

	<p>安価である。車両代や整備費用が上昇しているなか燃料費が下がるのは大いに助かっている。4、5月と大幅な取扱金額の減少が続いた後で、下げ止まった様にも思えますが、マイカー普及に伴い日曜日や祝祭日には需要が低下する傾向にあり、8月は盆休みに加え「山の日」の祭日が増えた事もあり、需要の減少が心配。</p>	
	<p>相変わらず取扱高は伸びていない。</p>	<p>港湾運送業</p>
<p>その他非製造業</p>	<p>介護施設における虐待等の課題を業界全体で見直すべきだと思う。職員一人一人の意識向上が必須。報道等にかかわりなく業界の景況は前年と比較すると悪化している。</p>	<p>介護事業</p>